

# あおぞら通信 No. 15

2010年2月4日発行3月23日改  
発行人:あおぞら自然共育舎 早川広美  
年4回不定期発行

- ・ エッセイ「心が自由である」…… 1
- ・ かさまの杜保育園ビオトープ観察会…… 1
- ・ 共働舎とんぼガーデン…… 2
- ・ 倉田小学校のビオトープ授業…… 3
- ・ リコー自然教室…… 3
- ・ 正月飾り手作り記…… 4
- ・ 田んぼから—生きものの冬越し—…… 4
- ・ 生きものあれこれ…… 4

**心が自由である**「心が自由である」とはどういうことだろうか。私が32歳だった時、ネイチャーゲーム指導員の資格を取るために2泊3日の講習会に参加した。ネイチャーゲームとは、五感を働かせながら自然とふれあう考え方やアクティビティのこと。その時に約20種類のアクティビティを体験したが、自然に囲まれた空間と受容的な人々にも恵まれ、「何をどう感じていいんだ！感じることは自由だ！」と心底、解放される深い喜びを味わったのだった◆当時の私は、会社勤めの中で行き詰まりやストレスを抱えていて、「～すべき」とか「感情的になってはいけない」などという固定観念に支配されていたと思う。同じ頃、アサーションの第一人者である平木典子先生の「感情こそが人を最後まで支える」という言葉にも、感動のあまり涙が出たものだった。「感情的になっていいんだ、これでいいんだ」と。もっと自分の「感じる」ことを大事にしよう、感情を悪者にしないようにしよう、と思えるようになった◆自分をしばっているのはほかならぬ自分なのかもしれない。今でも私の中には何かしらの固定観念や偏見があるだろう。時々息苦しいな、と感じた時には自分の中の固定観念を覗いてみる。簡単にはほどけないものもあり、人生、修行だな、とも思うのであるが。



★かさまの杜保育園ビオトープ観察会★かさまの杜保育園(横浜市栄区)での年中児を対象にしたビオトープ観察会第5回(今年度最終回)は「ビオトープの環境を表現してみよう」でした(11月10日)。

表現にもいろんな方法がありますが、今回は「からだ」での表現にトライ！初めにビオトープで葉の枯れた植物の様子を見たり、ヤゴに触ったりしながら改めてイメージを高めていきます。そうそう、このところ「もぐもぐタイム」と称し、赤虫などをヤゴにやり、その鋭い下あごを目にも止まらぬ速さで伸ばしてエサを捕えてしまう瞬間を観察しようとしてチャレンジしているのですが、幼児にはなかなか難しいようです。じーっと見ていられず、どうしても手が出て、触



やっとなめたよ



ヤゴで～す♪

ったり容器を動かしてしまったり。でもいろいろと工夫のしどころはありそうなので、また挑戦してみようと思います。

その後は室内に入り、私の「ビオトープの1年」のお話に沿って体を動かしていきます。おもにトンボの1年を描いているので、春になってヤゴが水底を動き回ったり、エサに食いついたり、夏、トンボになって飛んだり止まったりする場面では元気がいっぱいの大騒ぎ！最後は冬を迎えて石などの陰でじっと



羽化するヤゴの足元で、あれれ？



水中に産み落とされた卵が転がってます

して春を待つヤゴ…。春からの体験をもとに、リアルな感覚を持って動いていた、かな？少なくとも、生きものの動きを観察によってまねる、なり切るという行為は、子どもたちに対して「トンボ」「ヤゴ」への親しみの気持ちと理解をよりいっそう育んだことと思います。この4月からは年長さんになる子どもたち。こうしたビオトープでの気づきや学びが、年下の子どもたちにも伝わっていくことを願っています。☆かさまの杜保育園ビオトープ事業は人と自然の研究所と協働展開しています☆

★共働舎とんぼガーデン★知的障がい者の授産施設 共働舎(横浜市泉区)で地域の人が参加する「とんぼガーデン観察隊」



「とんぼガーデン観察隊」第4回～6回を9月26日、10月31日、1月23日に実施しました。一挙報告です！

第4回は「私たちの町を探検しよう」(1)(2)。緑の多い住宅地を抜けて中田中央公園まで虫を探しながら歩き、地図にどこにどんな虫がいたか書き込みます。

第5回は、大きな地図で探検のまとめをし、環境によって棲む生きものが違うことや、トンボがとんぼガーデンと行き来をしているかもしれ

ないこと、そのためには緑があるということ、などを話合いました(3)。その後、水草を刈り取ったり、水際のもみじを剪定して少し明るくしたり(4)(5)。それから、陸地部の植物を豊かにする一環として、スミレの種蒔きをしました。種は近くに生えていたものから採りましたが、ツマグロヒョウモンという蝶の幼虫(6)がついていました。とんぼガーデンのスミレも大きくなったら、この蝶が産卵に来るかもしれないね。

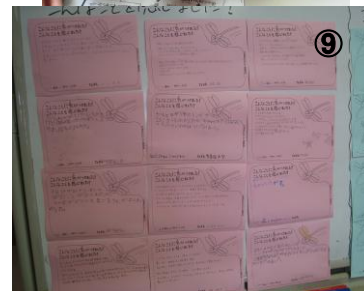
第6回は、刈り取って干しておいた水草(カンガレイ、サンカクイ)で縄ないに挑戦！(7)さわやかな草のにおいの、薄茶と薄緑の縞模様のしなやかな縄ができました。自分たちが刈った草でやれたことに楽しさが増しました。そして、今とんぼガーデンにいるヤゴの観察(8)。シオ

カラトンボ・オオシオカラトンボ・ショウジョウトンボ・クロスジギンヤンマが見つかりました。そこから、とんぼガーデンの環境について考え、私たちが今までやってきたことの成果や、これからやるとさらにいいこと、などを考えました。最後には、1年間のまとめとして、「気づいたこと、学んだこと」「これからこうしたい！」の2つを紙に書いて各自が読み上げ

ました(9)。身近な所に意外と生きものが多くいることに驚いた、まずは自分の身近な自然を大切にしたい、自分の庭にもビオトープを作って生きものがやってくるようにしたい、山や川や湖でも虫をいっぱい探したい、種類によってトンボの好きな環境が違うことがわかった、などなど、一人ひとりがいろんな気づきを得たようです。種まきをしたハコベやナズナ、スミレも芽を出しました。これからも

私たちを取り巻く草や木や虫や鳥たちとともに暮らしていきたいですね。

10月16日には利用者さんの秋の観察会を実施。今回は、とんぼガーデンの様子や生きものをスケッチしてみました。描いた絵を持ち寄って見せあっていたら、話したそうな人がいたので何人かの人に、みんなの前で発表してもらいました。何気ない絵の中にちゃんとストーリーがあったり、楽しくお話している様子は、私もとても嬉しかった





⑩



⑪

たです♪(⑩⑪)そして、以前よりも絵がしっかりしてきたような気がしました。観察会も2年目に入り、観察する目、生きものへの親しみの気持ち、そんなものが少しずつ育まれてきたのかも、しれないな、と思いました。

☆共働舎ビオトープ事業は人と自然の研究所と協働展開

しています☆

★倉田小学校のビオトープ授業★

横浜市立倉田小(横浜市戸塚区)でビオトープに関する授業をしました(1月18日)。4年生と5年生約70名に、「生きものとお話をしよう!生きものが喜んでやって来るビオトープって?



て?」というテーマで話しましたが、倉田小には校庭にある水辺ビオトープのほかに、徒歩10分の場所に田んぼもありますので、田んぼにからめた内容も加えました。とにかく先生も子どもたちも環境学習に熱心!12月には東京のビッグサイトで開かれたエコプロダクツ展に

小学校では初めて参加、6年生が発表をしたとのこと。私も、そんな子どもたちや先生方のお役に少しでも立てれば…という気持ちでした。今回はビオトープに生きものが喜んでやって来るためには、自分たちにどんなことができるのだろう?ということについて、人間の視点ではなく「生きものの視点」で考えてもらうのがねらいでした。自然相手のことは、「こうすれば必ずこうなる」というものは無いので、常に現場をよく見て、今どんな生きものがいるのか調べて、考え、行動し、またよく見る…の繰り返しです。倉田小のビオトープが今以上にたくさんの生きものでにぎわうよう、私も応援したいと思います!

★リコー自然教室★有限会社カルティベートカンパニー 人と自然の研究所さんが株式会社リコーさんから

依頼されている「リコー自然教室」に、7・8月に続いて補助スタッフとして関わりました(11月14日)。これはリコーさんが社員教育の一環として実施しているものです。埼玉県和光市の会場で「生きものの視点に立ってみよう」などの講義のあと、近くのアグリパークにあるビオトープでヤゴなどの生きもの調査をし、その後、植物の調査と管理作業も行いました。

みなさん、タモ網を持って池に入っている時は活き活きと笑顔です!やっぱり研修は楽しくなくっちゃね!そして顕微鏡と首っ引きで名前調べも。さて、生きもの

の視点で見たビオトープはどんな環境だったのでしょうか?リコーさんは、環境経営の分野でも先進的な企業です。社員の皆さんのますますの環境意識の向上と、地元での活動やお仕事の際の話題の引き出し作りに役立つことを願っています。研修会の様子は同社社会環境ポータル **ガイア**で詳しくご覧になれます <http://www.gaiaia.jp/> 見てね!



何がいるかな~?



タンポポ



ヘビイチゴ



ホトケ/ザ

…冬の野草

アルバム…

寒い冬の間も、植物は冷たい風を避け、太陽の光を受けやすいように葉をいっぱい地面に広げてじっと春を待っています。

暖かい陽だまりでは、早くも花を咲かせている草もあります。

何も無いようでも、私たちの足元には一生懸命に生きている野草がたくさん息づいているんですね。

★正月飾り手作り記★毎年、正月飾りをどんど焼きで燃やす時に、不燃物(針金・ホチキスの針、プラスチックなど)の多さに辟易としていたので、2010年は手作りの



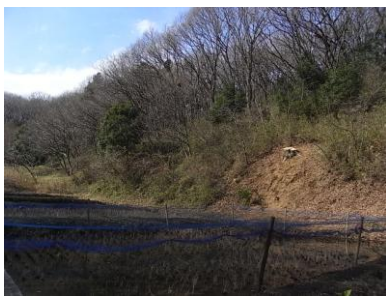
正月飾りで迎えよう！と一念発起。近くの農家(舞岡ハム工房)で販売している藁を買って縄をない、和紙やさんで白い紙を買って、御幣ってこうやって作るんだ～と面白がりながら作りました。でもご覧

餅も、和菓子屋さん(大竹屋)で買えることを発見し、初めて注文してみました。そんなに高くないです。1200円くらいだったかな？ところが、問題は鏡餅を載せる三方(さんぼう)をどこで買ったらよいのか？わからず、あちこち訪ね歩きましたが、神仏具やさんで買えました！鏡餅は鏡開きの日に割って、ぜんざいにしていただきましたよ。おいしかった～♪



の通り、バランスはイマイチ…でもまあまあ満足です。鏡

★田んぼから～生きものの冬越し★ひっそりと見える冬の田んぼやその周辺では、実はいろいろな生きものが



冬ごもりをしています。中には、なぜか冬の最中に目覚めて卵を産みに田んぼにやって来る生きものも。そのかい雨の降った夜に産卵し木林が隣接していて、もち必須条件。卵とオタマジャク



名はヤマアカガエル。1月下旬の暖めます。この写真のように、田んぼに雑ろん田んぼには冬でも水があることがシンの間は水中で暮らしても、カエルになつたら林の中で暮らすからなんです。こんな環境が無くならないようにしなくては

★生きもの・そのほか・あれこれ★



野菜の固定種と交配種について考え、自分でも固定種を蒔いてみた。左が春菊、右はほうれん草。交配種は、一代限りのものなので、種を採ってまた蒔いても良い性質の物ができない。固定種は、種を採取できるけど、収量や品質にバラツキがあるらしい。我が家のはまだ生育途中！



ずーっとやりたかった草木染に挑戦しました♪きれいな柔らかな黄色です。道端によく生えるコセンダングサを使いました。

○お知らせ○このたび、「あおぞら通信」がインターネットでも読めるようになりました！

(株) 柳澤電機製作所様のご好意で、同社関連 HP「パン屋さんよろず相談室」の一角に No.1 から順次掲載されます。よろしければどうぞご覧ください！

[http:// www.kusizawa.com](http://www.kusizawa.com)

★自己紹介★私は、里山型公園のスタッフとして自然の保全や体験活動などに携わる一方、フリーランス(あおぞら自然共育舎)で自然体験・再生・創出の仕事をしています。「体験による気づき」を大切にすることが信条。★この通信では仕事内容の報告や、日常で自然とのふれあいを楽しむヒントなどもお伝えできたらなあと思っています。ご家族やお友達との回し読み歓迎！ ☆ネイチャーゲームインストラクター・ビオトープ管理士・人と自然の研究所客員研究員 ☆横浜市戸塚区在住、1963年6月生まれ。



仕事の相談、感想はこちらまでお気軽に！ → [hiromi-h@river.dti.ne.jp](mailto:hiromi-h@river.dti.ne.jp) 早川広美 (あおぞら自然共育舎)